

5号機 定格熱出力一定運転の開始について

平成 16 年 12 月 20 日

5号機

試験運転中の5号機は、12月20日 午後0時より定格熱出力一定運転を開始しました。

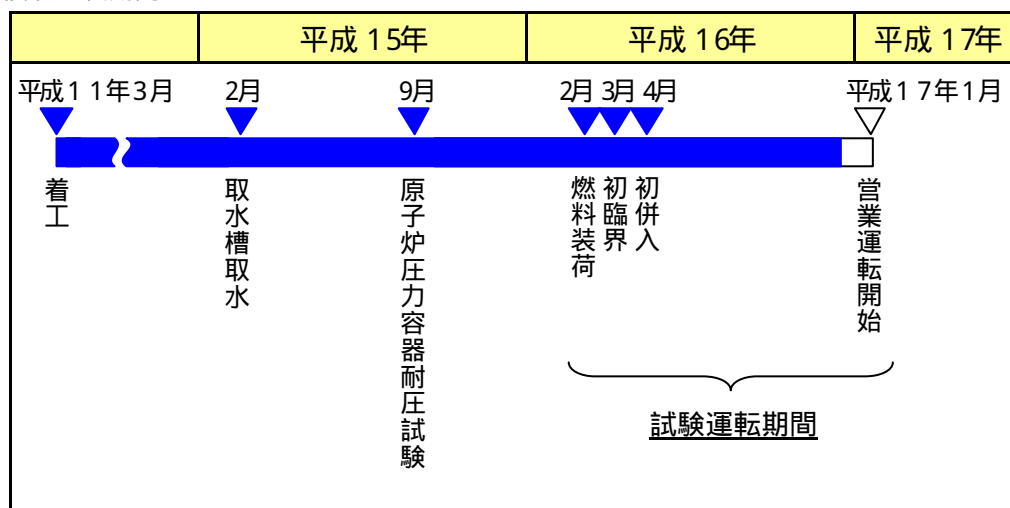
今後、定格熱出力一定運転状態において、原子炉や蒸気タービン設備、電気設備などの運転データを採取し、安定に運転できることを確認する試験を行っていきます。

なお、定格熱出力一定運転の開始に必要な手続き については既に終了しております。

定格熱出力一定運転の導入にあたっては、「発電設備の健全性評価結果」および「保安規定の変更」について国の確認を受ける必要があります。

- ・「発電設備の健全性評価結果」について、平成15年11月12日に国から当社の評価結果を妥当とする旨の通知を受けました。
- ・「保安規定の変更」について、平成15年11月7日に国から変更の認可を受けました。

試験運転期間



< 参考 > 1～4号機の定格熱出力一定運転導入状況

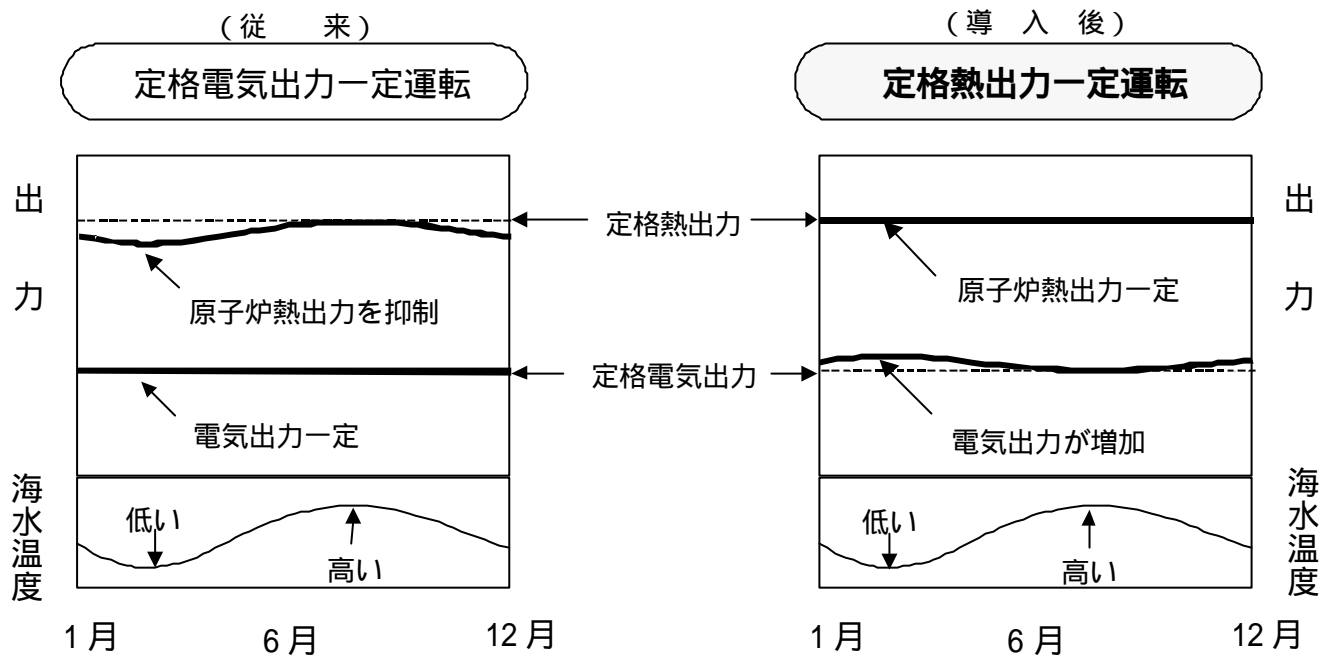
	定格熱出力一定運転開始日
1号機	-
2号機	平成15年 8月21日
3号機	平成15年12月10日
4号機	平成15年11月28日

1. 定格熱出力一定運転とは

「定格熱出力一定運転」とは、原子炉から発生する熱量(原子炉熱出力)を国が認めた定格値で一定に保って運転する方法です。

定格熱出力一定運転を行った場合、電気出力は下の図のように海水温度に応じて変化します。冬季のように海水温度が低い時期には発生する電気が増加します。

なお、「定格熱出力一定運転」については、国において検討が行われ、平成13年12月、安全性等問題はないとの見解が示されました。以後、国内の原子力発電所で順次導入されております。



2. 冬季に電気出力が増加する理由

